

2009 Open Campus



いのちみつめて130年 Nippon Veterinary and Life Science University

◎日獣祭開催中。日獣祭のイベントもご見学・ご参加ください。

time table (10/31・11/1)

	10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
受付	C棟5Fエレベーターホール 全学科	・資料配布 ・シラバス(講義概要)展示 ・入試過去問題(実物)展示					※15:00までにご来場ください	
相談会	C棟5F 会議室 全学科	・教員との相談(学科の相談はこちらどうぞ！)					10:30~16:00 随時	
	C棟5F 応接室 全学科	・何でも相談(入試の相談はこちらどうぞ！)					10:30~16:00 随時	
学科体験試験講義説明	C-502 獣医学科 獣医保健看護学科	11:00~ 獣医学科 学科説明	11:30~ 獣医学科 入試説明	12:00~ 獣医保健看護学科 学科説明	12:30~ 獣医保健看護学科 入試説明	13:00~ 学長からの メッセージ	13:30~14:15 獣医学科 体験講義	14:15~15:00 獣医保健看護学科 体験講義
	C-501 動物科学科 食品科学科	11:00~11:45 食品科学科 体験講義		12:00~12:45 動物科学科 体験講義		13:00~ 食品科学科 学科説明	13:30~ 食品科学科 入試説明	14:00~ 動物科学科 学科説明
研究室紹介	C-503 動物科学科	10:30~16:00 随時			パネルの展示で11の研究室をご紹介します。			
	C-503 食品科学科	10:30~16:00 随時			パネルの展示で10の研究室をご紹介します。			

■ 獣医学科
(10/31) 脳を探る
～脳活動の可視化技術～

動物やヒトの脳活動を測定するために様々な方法が開発されています。この体験講義では、ヒトを対象とする非侵襲的な(生体を傷つけない)測定技法の一つである機能的MRI (fMRI)を中心に脳機能を“観る”方法について説明します。最近「脳科学」への関心が高まっていますが、同時に脳に関する迷信や誤解も増えています。fMRIを用いて何が明らかになるのか、その有効性と限界について解説します。

助教 野瀬 出
比較発達心理学



■ 獣医保健看護学科
(10/31)消化管の動きを考える

「消化管」にはいろいろな病気が存在します。潰瘍やガンをはじめ、最近では出血などの直接的な症状が現れないが、胸やけや胃もたれが消えないといった「機能的胃腸症」といった診断を受ける場合もあります。こうした症状に対処するために様々な消化管の運動機能改善薬が作られ、成果を挙げています。運動機能を改善することは、ムカムカ感や膨満感を消失させるだけではなく、おそらく粘膜の正常状態維持にも関係があるのかも知れません。今回は生物学的な視点も絡めながら消化管を考えていきたいと思います。

助教 藤澤 正彦
獣医保健看護学
基礎部門



■ 動物科学科
(10/31)
生殖工学を利用した牛の改良

乳牛や肉牛は、良質で美味しい食糧を効率よく生産するように改良されてまいりました。近年は、受精や発生にかかわる生殖工学技術が牛の改良に利用されつつあります。これらの技術と利用性についてご紹介いたします。

教授 牛島 仁
動物生殖学



■ 食品科学科
食べものの「抗酸化作用」って何！ 食品機能化学
-身近な食品の抗酸化作用を測ってみよう- 教授
西村 敏英

生活習慣病患者の増加に伴い、健康への関心が高まっています。食生活を変えることで、生活習慣病を防げます。食品には、病気を予防する働きがあるからです。例えば、抗酸化作用をもっている野菜、お茶、ワインなどが、老化やガンの予防に役立つというのは有名な話です。それでは、「抗酸化作用」ってどのような働きでしょうか？毎日の生活で、体の中には、たくさんの活性酸素、ラジカルといった酸化物質ができます。酸化物質は、体の中のタンパク質、DNA、細胞や組織に傷をつけます。これらの傷は、老化や発ガンの原因となります。これらの酸化物質を体内から除くことを「抗酸化作用」といいます。この作用をもった食品を摂ることは、病気の予防に繋がります。この体験講義では、「抗酸化作用」についてもう少し詳しくお話ししながら、身近な食品の抗酸化作用と一緒に調べたいと思います。「食品と健康」にご興味のある方は、是非、ご参加下さい。

助教 江草 愛



(11/1)骨から学ぶ動物の体

なぜイヌは木登りが苦手なのに、ネコは得意なのでしょう？なぜシマウマは、チーターなどの捕食者から逃げ切れることができるのでしょうか？これらの疑問の答えの一部は、動物たちの骨に隠されています。本体験講義の中では、動物の骨格系の基本を学びながら、これらの疑問を皆さんと一緒に解いていきたいと思います。

助教 大石 元治
獣医解剖学



イヌ(上)とネコ(下)の骨です。どこが違いますか？

(11/1)医学と動物

人はどうなったら医師を受診しようと思うのだろうか。そもそも病気とはなんだろうか。それをきちんと理解すると動物が発信しているサインが分かるようになる。医学を人・動物の区別なくひろく理解する視点を提示します。内科医である経験にもとづいて誰もが聴いてよかったと感じてもらえるように語ります。

教授 大坂 元久
獣医保健看護学
基礎部門



(11/1)生物がもつ周期性

睡眠覚醒リズムやホルモン分泌には、周期性があることが知られています。これらの周期性には、我々の体内に備わっている生物時計が関わっている事が知られています。講演では、生物がもつ様々な周期性と生物時計について紹介します。

助教 中尾 暢宏
動物生理制御学



助教 江草 愛

